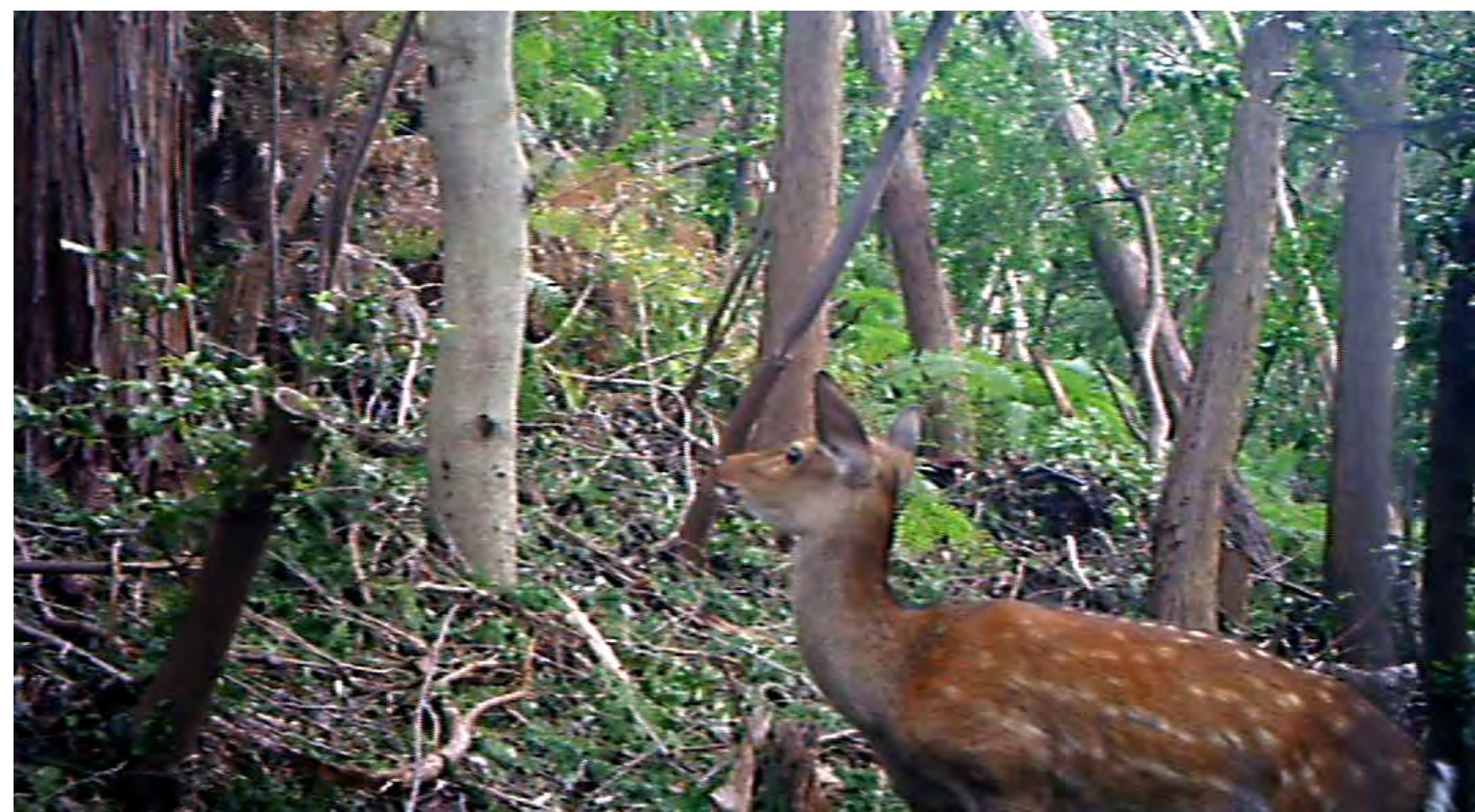


シカのモニタリング調査

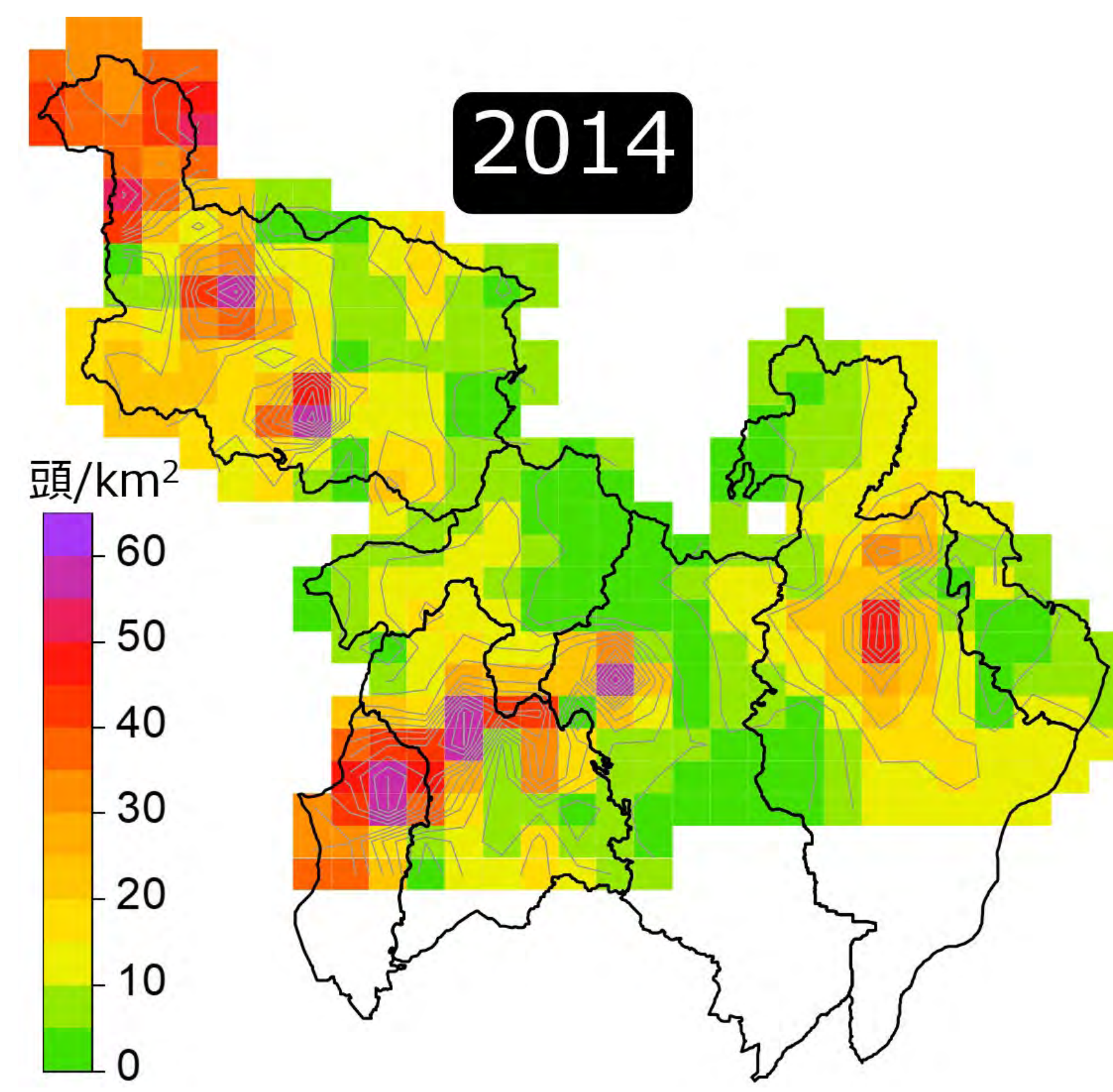
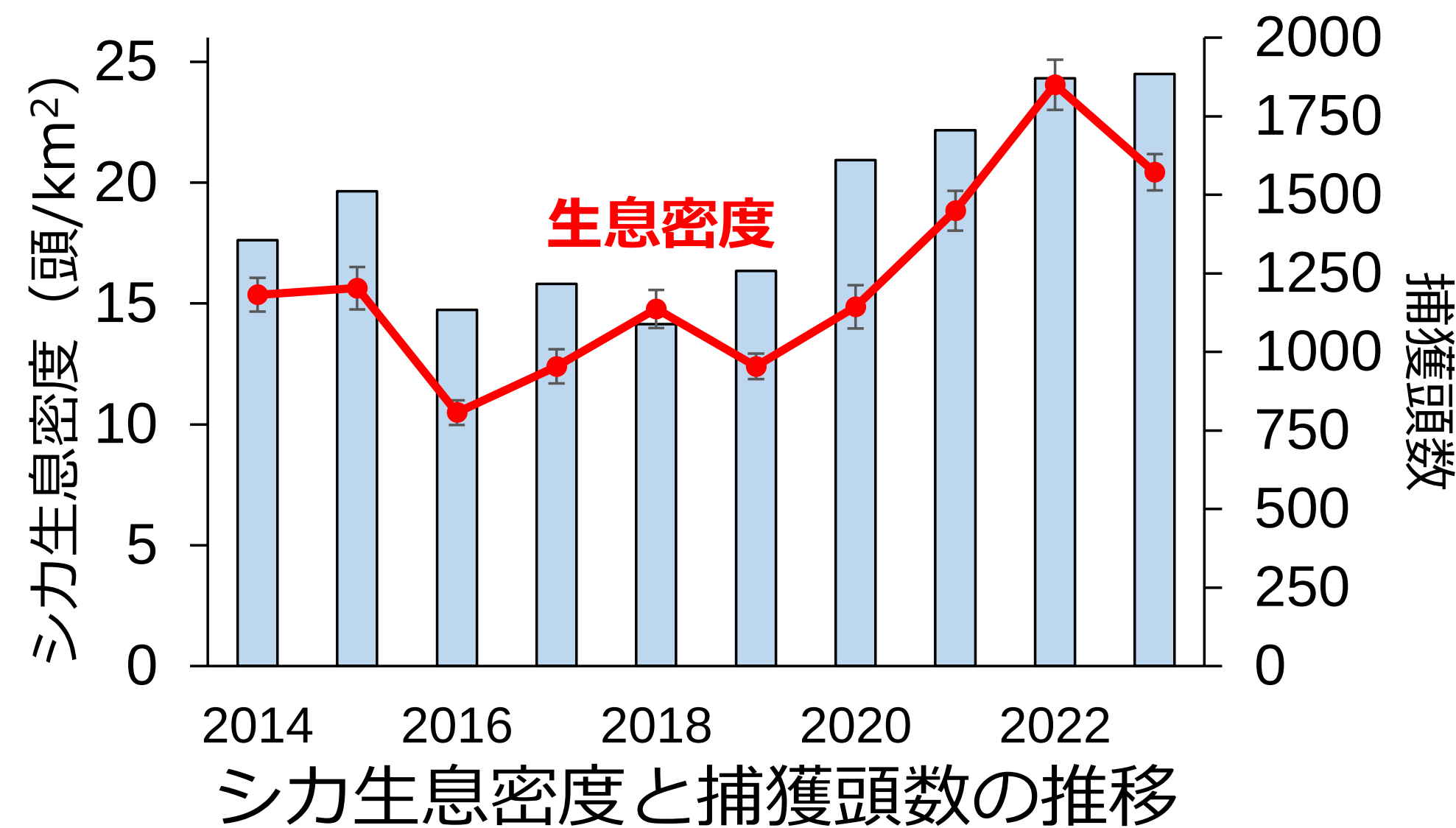
森林生態系への影響や農林業被害が問題視されているシカとの共存を、科学的管理のもとに進めるために、生息状況や被害状況の把握を行っています。

シカの分布と生息密度の変化

- 大阪のシカは、主に北摂地域に分布しています。
- 過去には激減して保護されていましたが、1990年頃から急激に増加しました。近年は、2016年頃にやや減少したものの、その後再度増加してしまっています。
- 能勢・箕面・高槻に多いですが、高密度な場所は徐々に変化しています。



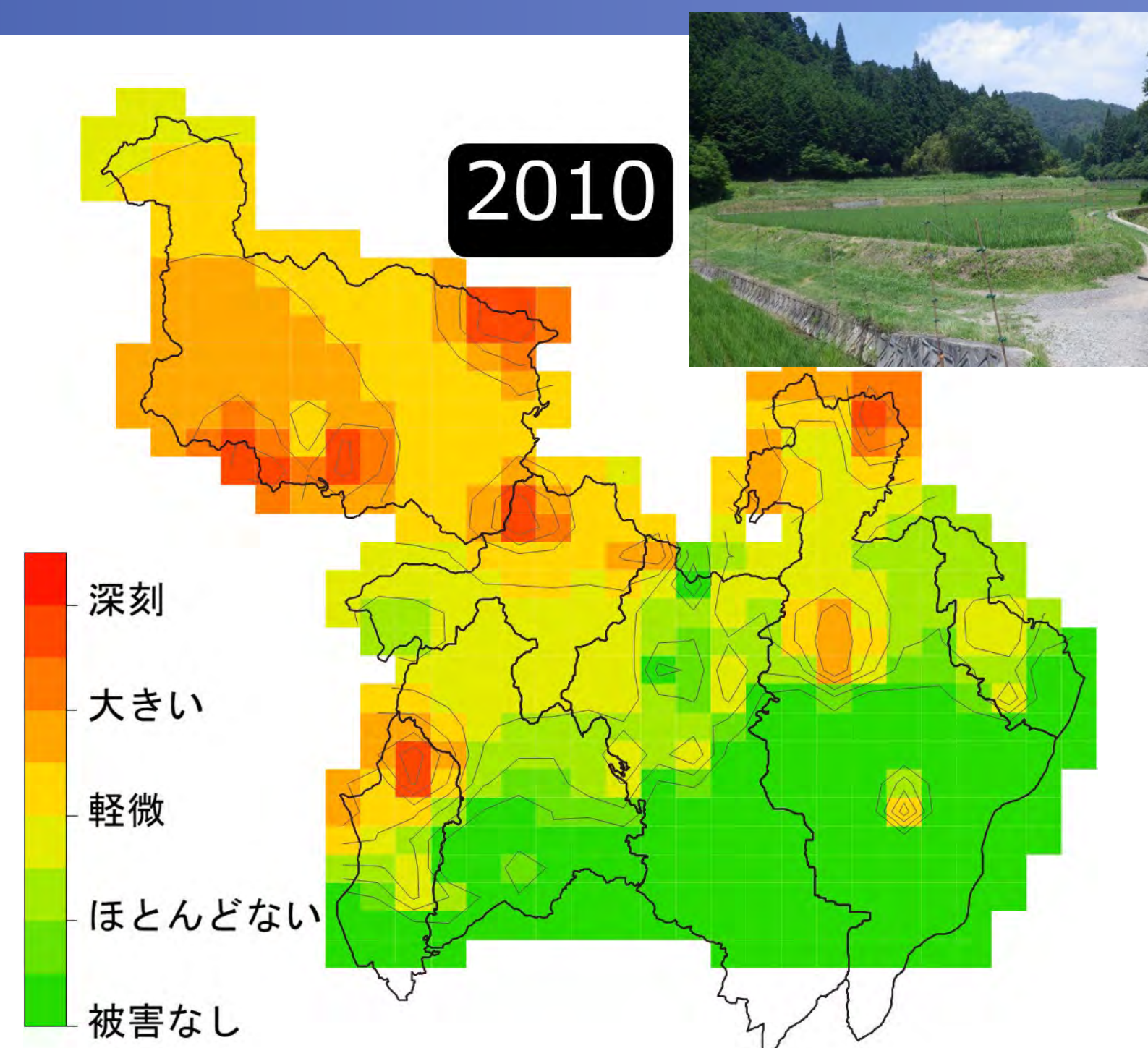
森の木々を食べるシカ



シカの生息密度分布とその推移
(※糞塊除去法という手法で密度推定)

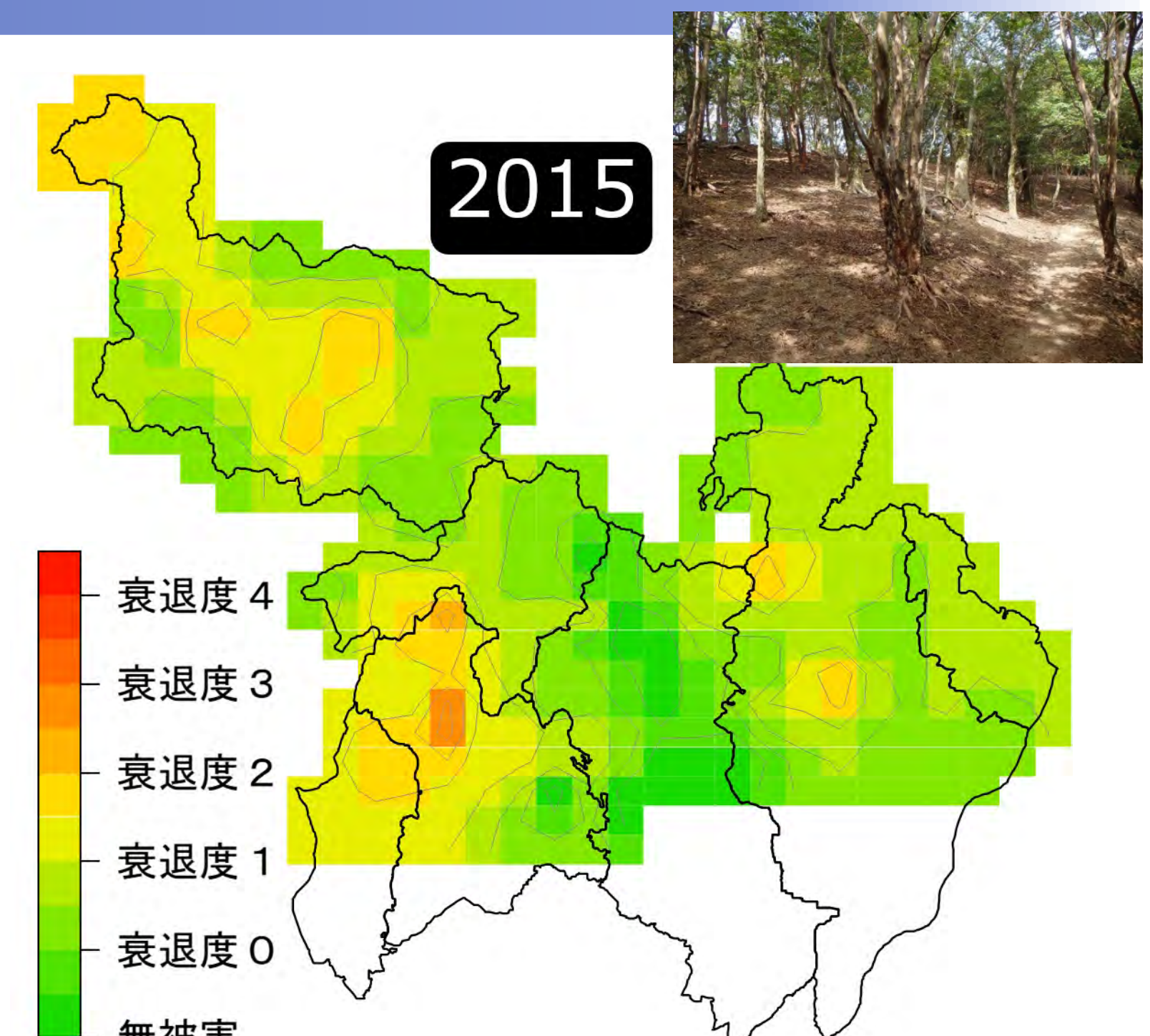
シカによる被害の発生状況

- シカ高密度地域を中心に、大きな農業被害が発生しています。
- 森林でも高密度地域では、シカの口が届く高さの植物が食べつくされ、次世代を担う若木が育たない状況が生じています。



農業被害強度の分布とその推移

* 農業実行組合へのアンケート調査から評価

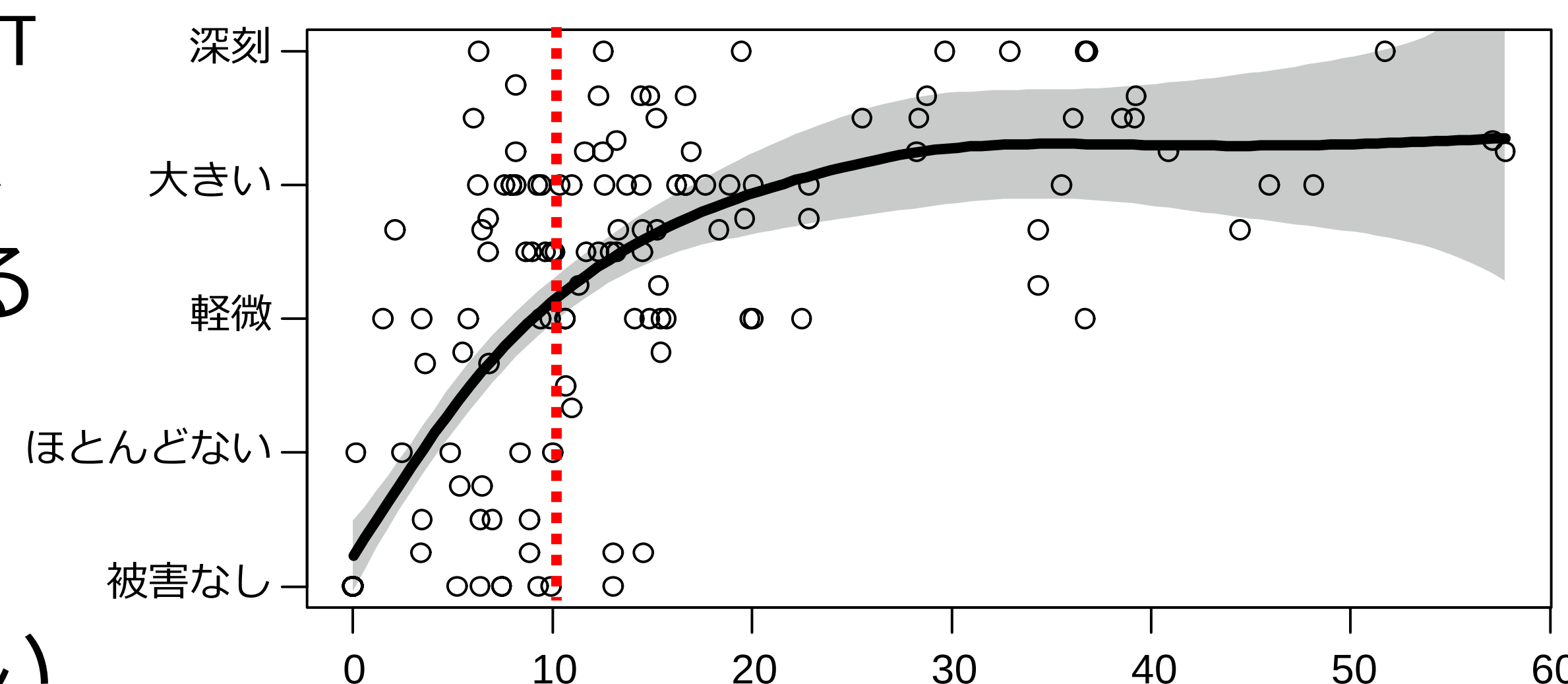


下層植生衰退度の分布とその推移

* 高さ3mまでの植生の植被率で評価

大きな被害を抑えるためのシカ密度とは？

- シカ生息密度と農業被害の大きさの関係を解析したところ、シカ密度20頭/km²程度までは急激に被害が増加し、その後ほぼ一定で推移することが分かりました。
- この結果を元に、大きな被害の解消を目指し、大阪府のシカ管理計画では「10頭/km²」という密度を個体数管理目標に活用しています。



* 黒色の太線が推定される関係性、灰色は推定される誤差範囲